

Weekly Report 2023-2024



創立 1969年4月14日
承認 1969年4月23日
チャーターナイト 1969年11月9日
発行 IT・広報委員会

世界に希望を生み出そう

会長：磯崎裕騎 / 幹事：吉岡哲哉 / 副会長：村上義憲 / 会長エレクト：江島繁夫 / 副幹事：岩本達也 / S.A.A: 堀井実

今週のプログラム		第2580回	12月8日
客話：疾病予防と治療月間 高松市保健所 感染症対策室 吉村様			
担当者	プログラム委員会	例会場	JRホテルクレメント高松

先週のプログラム		第2579回	12月1日
(昼例会) 会員卓話 池上・遠藤会員			
担当者	プログラム委員会	例会場	JRホテルクレメント高松



磯崎会長挨拶

・ こんにちは。今日は最高気温が10度と今期最低です。今からもっと寒くなると思いますがお気をつけてください。

さて今日の話ではキッシンジャー氏の死去に触れないわけにはいかないと思います。私くらいの年齢でも彼の名前は記憶に強く刻まれており20世紀もしくは昭和の時代がまたひとつ閉じたなと思います。改めて新聞記事をいくつか見ると立場によって評価は分かれるようですが現実路線を強く意識した外交が一定の効果あげたことは否定されていないようです。

また先ほど見たニュースでも脚本家の山田太一さんが亡くなったようです。最近ではテレビをあまり見ないのですが私の青春時代には有名な「ふぞろいの林檎たち」を毎回見ていて学生を演じていた中井貴一が今は私と同じグレーの髪になっているのは私も当時学生だったので当たり前ですがなんだか不思議な感じがします。音楽と同じでテレビドラマなんかは同年代では話を通じますがそれ以外だとピンと来ないかも知れませんが、本人たちにとってはいつでも青春時代に返れる貴重な経験です。

5年10年経って振り返ってみると今日もその記憶の1ページです。毎日の一期一会を本当に大切にしたいと思った次第です。

本日もどうぞよろしくお祈りいたします。

吉岡幹事報告

- ・ 24年3月23日小豆島開催のインターミーティングご参加よろしくお願い致します。
- ・ 観音寺RC例会場の変更のお知らせ。
- ・ 配付：2022-2023年度地区概況
ロータリーの友12月号

メイクアップ

- 11月22日 2720 Japan O.K. ロータリークラブ 大島
- 11月28日 2720 Japan O.K. ロータリークラブ 大島
- 11月28日 観音寺東RC 岡田
- 11月30日 高松RC 石川 江島 藤田
- 11月30日 高松グリーンRC 村上

12月8日 今日は何の日	今日生まれの有名人
こと納め/屋根の日/果物の日 1941年 太平洋戦争勃発 真珠湾攻撃 1980年 ジョン・レノン射殺される	1973年 稲垣吾郎 1970年 和久井映見 1930年 名古屋章 1925年 サミー・デイビスJr 1903年 嵐寛寿郎 1864年 津田梅子
誕生花	スターチス、花言葉は“さりげない心づかい”
誕生石	ダイヤモンド(diamond)、宝石言葉は“清浄無垢”

手に手つないで

手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪
ひろがれ まわれ 一つ心に
おおロータリアン おおロータリアン



ニコニコBOX	
誕生祝いをいただいて。	島谷
誕生祝いをいただいて。	木内
遅刻(11/24分)	1件
合計 3 件	
本日の合計	7,000 円
2023-2024 年度 累計	414,500 円

出席報告		出席委員長：低田陽介	
会員数 / 42 名	出席規準数 / 40 名	出席者数 / 21 名	欠席者数 / 19 名
出席率 / 52.50%	ビジター / 0 名	最終出席率 / 11 月 17 日	48.72% → 61.54%

矢島ロータリークラブ訪問に向けて その 1

55周年事業委員会 接待担当委員 石川 洋介

はじめに

当会の創立55周年の記念例会等にお招きする友好クラブの内、矢島ロータリークラブをご案内・ご接待する等の任務を仰せつかった委員の石川です。

入会歴の新しい会員も増えてまいりましたので、改めて矢島の地と同クラブのご紹介、友好クラブの締結に至った経緯等をご紹介させていただきます。

秋田県・矢島町とはどんなところ？

矢島町は秋田県の南西部に位置し県内一の面積を誇り、明治22年に町制施行以来一度も町村合併することなく純血の俣、町政施行110周年を迎えるなど、秋田県下で最も古い歴史を有する町でありました。しかし、平成17年(2005年)3月、小泉政権下のもと、いわゆる平成の大合併により矢島町を含む一市・七町が合併し新しく由利本荘市(令和5年3月末日現在人口72000名余)となりました。山と日本海との美しい自然に恵まれた地域で秋田県と山形県の県境には、別名、秋田富士とも呼ばれる鳥海山が聳え、地域のシンボルとなっております。矢島町を散策するには「鳥海山を望むべし、木と触れ合うべし、地酒を味わうべし」と紹介されております。特に会員が蔵元である天寿酒造の日本酒「天寿」はマスコミに何度も紹介される等絶品と評判の地酒です。

高松市と矢島町との歴史的な繋がり

高松市と矢島町(現・由利本荘市)との歴史的な繋がり江戸時代に遡ります。生駒家は第13代藩主・「親敬」公の時代に戊辰戦争で新しい時代を迎える迄の230年間の永きに亘り同地を治めておりましたが、元々は1587年に、初代藩主の「親正」公が、豊臣秀吉から高松藩17万石を与えられ、以降西国大名の雄として4代・54年間に亘り讃岐一国を治世してきました。しかし、4代藩主「高俊」公の時代にいわゆる「生駒騒動」と言われる内紛が起き、1640年に幕府より領地を没収されました。「高俊」公は温暖な讃岐の国から僅か1万石の寒冷な出羽の国(現在の秋田県・矢島)に移封(国替へ)され、失意のうちに家臣団200名とともに矢島入りしたと伝えられています。

ポール・ハリスの言葉 ロータリー情報委員会 加藤和理

15. 愚かな富の崇拝

The worship of wealth has been one of the greatest obstacles in work of promoting acceptance of the service ideal.

奉仕の理想を受け容れるにあたって最大の障碍となるものの一つは富の崇拝である。

「貧者の一燈」という言葉があるが、富める者程奉仕の心に薄いというも時に事実である。貧乏ほどつらい答はないという言葉と相対比される、こういう言葉が別の個所に出てくるのは大変愉快である。さすがにポール・ハリスだと思う。「金持と灰吹は溜れば溜る程汚くなる」という日本の諺もその辺の眞理を衝いている。もっとも金持が何故けちなのか、という話になった時、所得が増える程税金は高くなるので同じ金額でも所得の高い者の実質負担は等比級数的に重くなるからだ、ということになって大笑いしたことがある。これも一面の眞理だが、事實はけちでなければ金持になれない、ということであって因果関係は逆なのだろう。だからここでもやはり考えなければならないのは、「何の為に金を儲けるのか」という根本的な問題であって、手段と目的を逆立ちさせてしまっているその人の人生観を追及し直さなければならないのだ。してみればこれとてやはり「生き方」それ自体の問題だろう。

ポールはまたこういう面白い話も書いている。彼が曾て Omaha のロータリアン、Frederick G. Smith と会談した時、スミスが「何故に百万ドルという金は百万本のステッキ、百万本のネクタイ、その他百万のあれやこれや以上に尊重されるのだろうか」と問うたというのである。これに対しポールも返答に窮し、「要するに習慣か、性癖の問題だろうよ」= "Custom, habit, I suppose." = と答えたという。そして彼は財産慾と奉仕の理想は両立しないものだと言っている。

そしてまた彼は、この本を書いたその時点でまざまざと見せつけられ、強烈な印象を受けたであろうと思われる一つの事件を紹介している。即ち一九三二年・米国の大不況時代、それは「自殺年度」= "Suicide Year" = と呼ばれるそうだが、ある大都市で一流の富豪二十人余りが自殺した。ところが一方、財産を持たない約一万の教師は、市の財政窮乏を救う為無報酬で働いたが一人の泊殺者も出さなかったという。この事実をもってしても富と教養と何れに軍配が上がるか明らかだろう。即ち富から得る幸福よりも教養から得られる幸福の方が大きいのだということを悟れば、人はきつと教養を取るに違いない、と語るのである。

ところでポールは、金銭以上の価値としての教養とか友誼とか、人生の仕合わせとかいう問題について屋々言及しているが、次に紹介する様な一節もまことに含蓄が深い……

IT・広報委員会よりお願い

週報に掲載させていただく記事・原稿を募集させていただきます。会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

題目は自由として、できるだけ多くの皆様に近況報告も含め各業界分野の話、身近な随筆、提言等どんなお話でも結構です。投稿していただきます様、宜しくお願い申し上げます。

次週のプログラム	第 2581 回	12 月 15 日
年次総会		
担当者	会長・幹事・各委員長	例会場
		JRホテルクレメント高松